



ひよこ組通信

また会いましょう号
令和4年2月18日
港区立青南幼稚園



今年度のひよこ組も最終回を迎えました。再三の新型コロナ感染拡大により、ひよこ組が休止になったり人数制限をしたりして、参加を楽しみにしてくださった皆様にはご不便をおかけしました。また感染予防のための消毒などにもご協力いただきありがとうございます。

毎回人気の製作コーナーでは、拙い指使いながら子どもが自分で作ろう、描こうとする姿を急かさずゆっくりと待ってあげている保護者の方の姿が印象的でした。そしてどこを手伝ってほしいかを聴いたり、必要に応じて手を添えてあげたりして寄り添い、できたときには「上手にできたね」「ここが、いいね」と一緒に喜んでいる場面もすてきでした。そうした大人の見守り支える姿勢は子どもの意欲や好奇心を確実に伸ばしていくことにつながります。

ゆらゆらだるまさん ゆきだるまさん



だるまさん、ゆきだるまさんの顔を描いたり装飾を貼ったりしてそれぞれに表情豊かな作品ができあがりました。指でチョンと触れるとユラユラ揺れるところが可愛らしく、一つ作ると「もっと作りたい!」「パパの分も作る!」と2つ、3つと作っていました。



あかおに、あおおに

2日には、節分を前に鬼のお面を作りました。作ったお面を早速かぶって遊ぶ姿が見られました。最後に親子で鬼を交代しながら鬼ごっこを楽しみました。お家でも豆まきをされたでしょうか。



ひらひらふわふわソフトボール

いろいろな色の紙をハサミでチョキチョキ切ったり手でちぎったりしてポリ袋に入れ、袋を膨らませて口をテープで止めるとソフトボールの出来上がり。中で小さな色の紙がひらひら！ハサミの使い方はまだおぼつかないながらも、自分でできることが楽しくて夢中で切っていました。お家でも簡単に切れる紙を用意して、正しいハサミの扱い方を楽しく教えてあげられると良いですね。



在園児保護者による人形劇

在園児の保護者有志の方々が「はらぺこあおむし」の人形劇を披露してくださいました。絵本に登場するアオムシやサナギ、アオムシが食べるごちそうの数々は全て保護者の方の手作りです。すてきなピアノと歌、リズム楽器などによる効果音とともにお話は進んでいき、クライマックスにはチョウチョに変身した園長先生も登場！子どもたちは最後まで目をキラキラさせて食い入るように見つめていました。最後にアオムシやサナギの人形を触らせていただき、子どもたちはそっと撫でたり抱っこしたりしていました。とても楽しく温かなひとときでした。



芽が出て膨らんで・・・



11月にひよこ組が植えたチューリップの球根から小さな芽が出ています。小さな芽のうちに寒さに十分耐えると春先になってぐんと茎を伸ばして蕾をもち始めます。ひよこ組の皆さんが一つずつ大きくなり、3歳児のお友達が入園を迎える頃には色とりどりの花を咲かせてくれると思います。幼稚園の近くにいらしたときには角のフェンス下を覗いてみてくださいね。

幼稚園入園前にこうした場で遊ぶ経験をさせたいという声が多く聞かれました。慣れない集団の場で戸惑ったり、遊具の取り合いをしたり譲り合ったり、泣いている子を気遣ったりする姿などもいっぱい見られました。何度か参加するうちに顔見知りになって、生まれ年が一緒に喜んだり、偶然同じ名前に驚いたり、悩みをつぶやいて共感したり・・・子どもを通じて保護者の方同士のコミュニケーションの場にもなっていたのではないかと思います。

来年度もまた親子で楽しい時間を過ごせるようなひよこ組にしていきたいと思っています。5月から開始の予定です。青南幼稚園ホームページ「未就園児の会（ひよこ組）」でお知らせしますので、お楽しみにお待ちください。

